



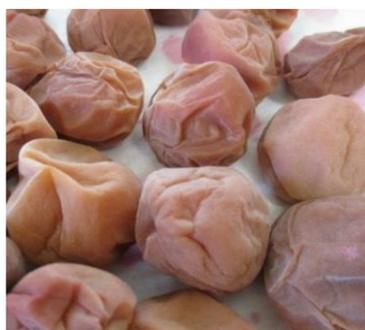
発行日
2016年10月1日
第2号

発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「ききょう苑」
〒259-1126 神奈川県伊勢原市 沼目 6-1237
TEL: (0463) 92-8101 ✉ kikyō-en@showakai.or.jp

ききょう苑通信

◆リハビリテーション部

「梅干し作りました！」



こんにちは、ききょう苑
作業療法士の白倉と阿津
地です！

ききょう苑では作業療
法士が2〜6名の小集団
で作品制作や園芸・調理・
頭の体操などを行う集団
リハビリを実施していま
す。今回はききょう苑の庭
で収穫した梅を梅干しに
する調理訓練を行ったの
で紹介します！



★作り方 ★



① ヘソ取りをした梅と塩を瓶に詰めます



② 数日後赤シソの葉を塩揉みして入れます



③ 土用干しをして完成！

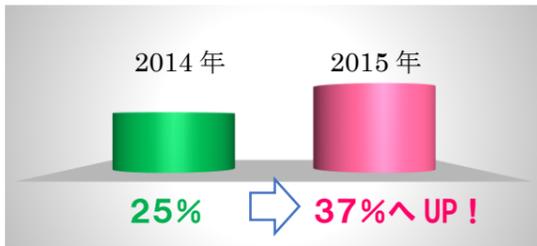
皆様のお昼ご飯に提供されました！



★ 調理訓練で期待できる効果例 ★

調理する…経験を活かして役割を果たし主体性が持てる
食べる…交流の機会や楽しみの場が共有できる
提供する…スタッフや他利用者に食べて頂くことで、
充実感や自信が獲得できる

「たくさん話せた」と記録できた割合 (%)



Aさんの場合…「たくさん話せた」と記録した回数
が増え、積極的に話をされる機会が増えました！

集団リハビリ実施後は感想を
聞いたり、振り返りの記録をし
て効果を客観的に評価していま
す。

◆入所部

夏の行事



皆様いかがお過ごしでしょうか？やはり
今夏も暑かったですね・・・そんな暑い夏
を乗り切るため、様々な夏の行事を実施し
ました。

『すいか割り』は夏の風物詩ですが、なか
なかな思うようにはいかずに苦戦していま
した。

『フルーツバイキング』は涼しげなフルー
ツで出来た器に盛りつけられた沢山の果物
に涼夏を感じながら味わっていました。
『縁日』はヨーヨーすくいを行い、色とり
どりのヨーヨーを前に張り切っていました。
なかなかお目当ての色はすくえなかったよ
うです。



ふれあいコンサート開催

ミュージックサロン「オンパス」が来苑
されました。当日は子供たちが、ピアノ・
エレクトーンの演奏、歌を披露され、素敵
な音色に聴き入っていました。



子供たちの天使の歌声！！

いろいろ座来苑*

昨年大好評であった「いろいろ座」が引き
続き来苑され、三味線や民謡などを披露し
ていただきました。懐かしい曲ばかりで昔
を思い出し、涙する方もいらっしゃいま
したが、楽しいひと時を過ごすことができました。
大満足の一日となりました。



いろいろ座公演中！！ 笑いあり！ 涙あり！

ききょう苑のオリジナルウィンドブレイカー作り
ました！ チームワークを大切に頑張っていきます！



◆通所リハビリテーション部



☆利用者様に好評をいただいているエコバック作りレクリエーションのご紹介をします！

〈用意するもの〉

- ①布製エコバッグ
- ②布描き用ペン
- ③アクリルペイント
(ステンシルなどで使用するペイント)
- ④筆
- ⑤水 (瓶等に入れる)
- ⑥パレット
- ⑦チラシ



※アクリルペイントは手芸店などで売っています。

- ① お手持ちのイラストなどを参考にして、エコバッグ (白色や生成りの生地が適しています) に布書き用ペンで下絵を描きます。
- ② 中にチラシをはさんで、アクリルペイントで色を塗ります。最初は水で薄めて薄く塗り始めてください。徐々に色を濃くしていくと良いです。
- ③ 絵の具のしみたチラシは、バッグに張り付きやすいので、早めに抜いて下さい。

良ければご自宅でも作ってみてください！



◆栄養部より

こんにちは、ききよう苑管理栄養士の濱田です。ききよう苑栄養部は、食事を通して利用者様の健康と元気を維持するお手伝いをしています。日々、楽しく召し上がっていただけてますよう、他部職員や委託給食会社と連携をとりながら「安心・安全・美味しい食事」作りを目指しています。また、7月には喫食委員会を発足いたしました。少しずつでも利用者様の希望にそえる食事を提供していきたいと思っております。その中で、8月17日におやつの一環として、フルーツバイキングを入所・短期入所の利用者様対象に実施いたしました。暑い中、食欲が落ち込んでいた利用者様も、喜んで召し上がってくださいました。写真は、当日の様子です。



彩り鮮やかなフルーツ！



美味しいねー



◆施設長コーナー

ききよう苑の役割は？

ききよう苑は、2000年、「介護老人保健施設」として設立されました。ところが、「介護老人保健施設」という名称は、いったいどんな施設なのだろうと、その理解が一人歩きをしていることを耳にします。

要は、怪我や病気で、突然、体が思い通りに動かなくなったりした時はもちろん、年齢とともに衰えてくる体力、筋力、そして気力、さらには食事をとる状況、あるいは、記憶力などについても、それぞれに合わせたリハビリテーションを行い、その向上、維持を目的として、お手伝いをする施設です。ご利用される方の身体状況、家庭環境などを考え、3か月ごとに効果を評価しながら、入所 (短期集中リハビリ)、通所、訪問によるリハビリテーションを行っています。

年齢とともに、どうしても家に閉じこもりがちになったり、家族に遠慮してついつい日常生活で遠慮することが多く

なったり、あるいは、ほかの人とはもとより家族とのコミュニケーションさえ少なくがちです。これまで、家族のために皆さん頑張ってきたのですから、それではあまりに悲しいことです。いまこそ、ご自分のために、好きなことに熱中し、楽しく食事をとり、多くの友達と語り合うときのはずです。

そのために、少しでもお手伝いしたいと願っているのが「ききよう苑」です。どうか、施設の役割をご理解いただき、上手にご利用してください。そして、ご家族、ご友人にも、その役割をお話し、一緒に「ききよう苑」をご利用いただき、皆さんが、顔を上げて、笑顔で、楽しい時間を過ごしていただけるようになることが、私たちの一番の願いです。

〈お知らせ〉

★ききよう苑「秋祭り」開催！

- ・日時：11月6日 (日) 10時～15時
- ・場所：ききよう苑
- ・内容：様々なイベントを企画中！

〔屋台〕

焼き鳥、焼きそば、原宿ドック、フランクフルト、

〔模擬店〕

豚汁、おにぎり、ヨーヨー釣り、当てくじ、駄菓子

〔催し物〕

カラオケ大会、車椅子体験、疑似麻痺体験、様々な展示など、皆様お誘いあわせの上、お越しください！

★冬季衣替えについて

・入所のご家族様は冬服と夏服の入れ替えをお願い致します。

編集後記

皆様のご協力のもと、「ききよう苑通信第2号」を発行することが出来ました。また、創刊号を読んで下さった方々より、大変ご好評をいただきました。中でも感激したのは、手書きの絵とともに、温かい励ましとねぎらいの言葉がつけられた葉書を通所リハビリテーションの利用者様よりいただいたことです。スタッフ一同大変感謝しております。これからも「ききよう苑通信」を皆様にお届けすることにより、ききよう苑を知っていただき、「ききよう苑に来て、通って、知って良かった」と、思っていただけのようにお手伝いをさせていただきたいと思っております。次号は、1月発行予定です。今後ともよろしくお願致します。

